

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	実 習		
科 目 名	故障原因探究		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	二級自動車整備科二輪自動車整備士コース		
年次学期・曜日・時限	2年後期	・ 月～水曜日	・ 1時限～8時限
時 限 数	60. 8時限（期末試験を除く）		
担当教員名	松原 吉彦・川向 芳子		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場において、保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、二輪自動車の故障を総合的に判断する上で必要となる知識と技術についての実習を実施する。		
授業の目的	二輪自動車の故障を総合的に整備する上で必要となる知識と技術の習得を目的とする。		
テキスト	①実習テキスト		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	燃料系関連故障探究	燃料関連の故障に対する探究の方法と知識の習得	①163～164
第2回			
第3回	エンジン本体関連故障探究	エンジン本体の構成部品故障に対する探究の方法と知識の習得	①151～157
第4回			
第5回	シャシ関連故障探究	シャシ関連構成部品故障に対する探究の方法と知識の習得	①158～162
第6回			
第7回	電装関連故障探究	電装関連構成部品の故障に対する探究の方法と知識の習得	①167～179
第8回			
	ステップ試験（中間試験）	第1回～第8回までの授業内容に関する実技試験	
	期末試験	第1回～第8回までの授業内容に関する実技試験	

到達目標	二輪自動車の故障を総合的に判断する整備する上で必要となる知識と技術の習得を目標とする。
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、ステップ試験（中間試験）並びに期末試験を合算して行う。
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30% 期末試験の点数 40% 平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p>
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。